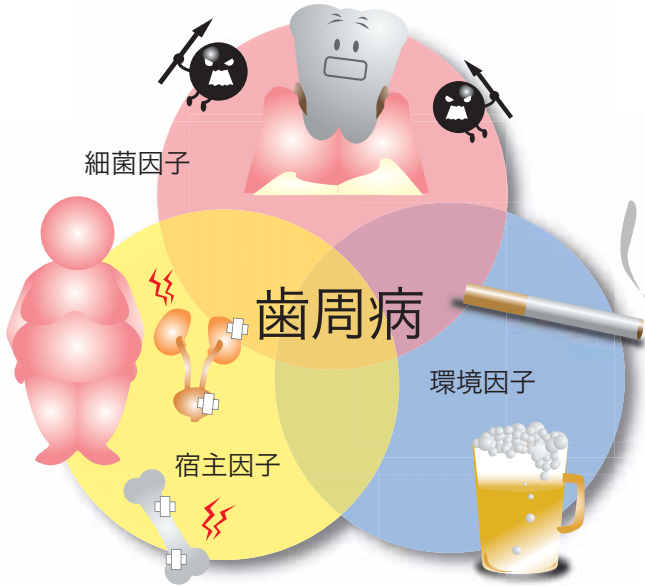




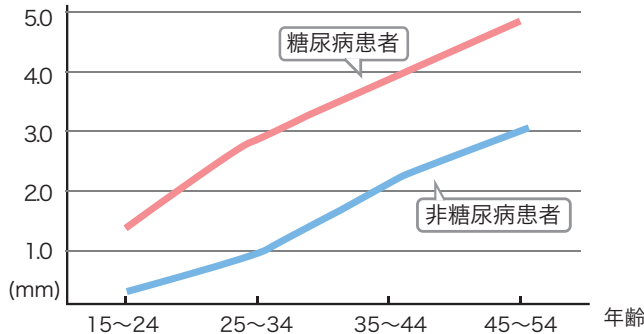
糖尿病で歯周病が増える理由

Diabetes Mellitus and Periodontal Disease

歯周病の危険因子は大きく分けて3つあります。それぞれが個別に歯周病を進行させますが、3つが絡み合い、互いに影響を強めるように作用することがあります。



糖尿病患者の歯周病はどのくらい進行しやすいのか？糖尿病患者と非糖尿病患者における歯周病の重症度の比較をアタッチメントロスで見ると次のグラフになります。



※アタッチメントロスとは、歯周ポケット底が下がることをいいます。すなわち大きいということはそれだけ、歯周病が重症ということです。
Emlich LJ, et al: Periodontal disease in non-insulin depend diabetes mellitus. J periodontol, 62:123, 1991.より改変引用

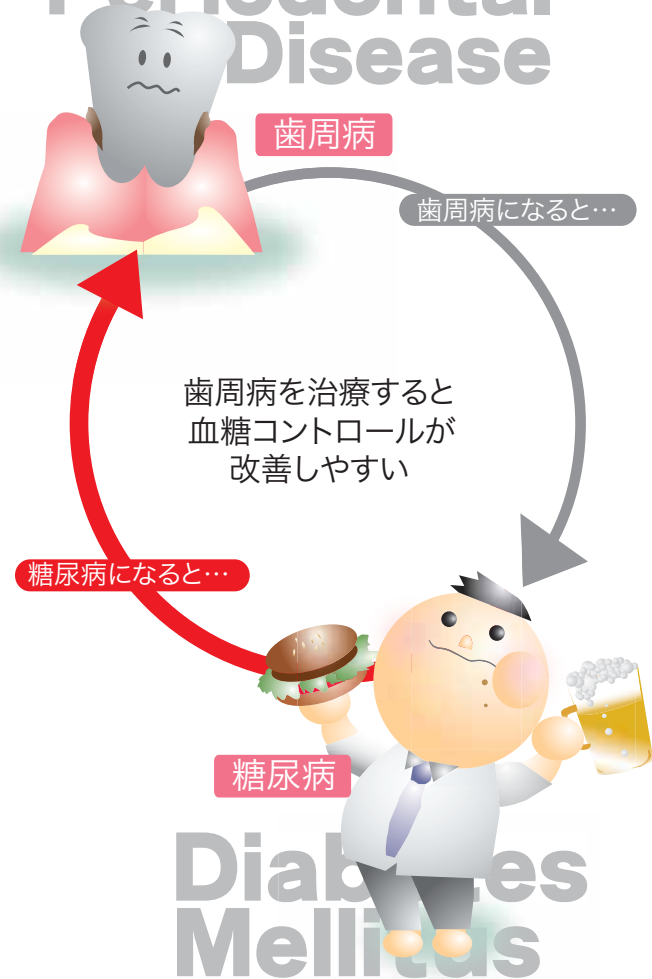


歯周病と糖尿病との関係

Diabetes Mellitus and Periodontal Disease

歯周病は、糖尿病の6番目の合併症だと言われていますが、最近では糖尿病が歯周病を悪化させるとともに、歯周病も糖尿病を悪化させるという、相互の影響が指摘されています。歯周病の治療をすることで糖尿病患者における血糖コントロールが改善されたという報告もされています。

Periodontal Disease



糖尿病患者の歯周治療

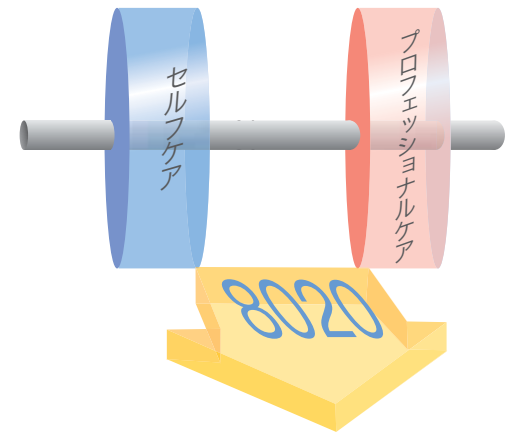
Diabetes Mellitus and Periodontal Disease

まず、かかりつけ医による糖尿病のコントロールが第一です。その上で歯科受診時に病状と治療内容を忘れずに伝えましょう。

歯周病治療は歯ブラシ指導と歯ぐき検査から始まります。歯ぐきの状態により歯垢や歯石を取ったり、歯の根の表面をツルツルに磨いたりします。症状が進んでいるときは、腫れた部分の歯ぐきを切ったりもします。

歯周病の治療が終了した後も、歯ぐきの健康を維持するためにセルフケア(個人管理)とプロフェッショナルケア(専門的管理)が必要です。

ご自身の生活環境にあった治療と管理方法を歯科医とよく相談して定期的に歯科医院を受診して歯周病の進行をくい止めましょう。



80歳になっても何でも自分の歯で食べることができるように20本以上の歯を保ちましょう。

